

北海道スタディ参加者の皆様へ

北海道大学では機関長の許可を得て、下記の研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、既に提供された情報（生体試料含む）を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。データの利用・提供を拒否することによる不利益はありません。また、データ利用・提供を拒否したとしても「環境と子どもの健康に関する北海道スタディ」への参加を取りやめることとはなりません。

第1版

作成日 2024年4月24日

研究課題名（研究番号）	ヒ素曝露と児の喘息・アレルギーに与える影響の解明（北海道スタディ）
北海道大学の研究責任者（所属）	アイツバマイゆふ（北海道大学環境健康科学研究教育センター） 池田 敦子（北海道大学大学院保健科学研究院・環境健康科学研究教育センター兼務）
他の研究機関および各機関の研究代表者	王秀麗（台湾National Institute of Environmental Health Sciences, National Health Research Institutes（NHRI））
本研究の目的	児のヒ素曝露と喘息・アレルギーおよび関連マーカーとの関連を明らかにする。
研究実施期間	2024年4月から 2030年3月31日まで
調査データ（該当期間）	2017年4月から 2020年3月まで
研究の方法（利用する資料・情報等）	<p>【対象となる参加者様】 北海道スタディ大規模コホートの参加者のお子さまのうち、子ども医学的調査に参加された方。</p> <p>【利用する試料・情報】 9-12 歳の子から収集済みの尿および対応する母体血を用いてヒ素（Arsenite [As(III)]、arsenate [As(V)]、monomethylarsonate (MMA)、dimethylarsinate (DMA)、arsenobetaine (AsB)）の測定を行う。</p> <p>健康アウトカムとしては、既に収集・測定済みの情報であるISAAC 調査票による喘鳴・鼻結膜炎・湿疹、非特異的IgE、好酸球、FeNO、サイトカイン等の炎症メディエーター、ステロイドホルモン、酸化ストレスマーカー等を用いる。</p>
試料/情報の他の研究機関への提供および提供方法	当研究のコホートデータは、対象となる参加者様の情報に対して個人が特定されない匿名情報処理を行い利用する。共同研究機関とのやり取りに際しても、個人の特定につながらない状態に加工した

	<p>情報を用いる。最終的に集積したデータの保管はアクセス者が制限されているサーバー等に行い、パスワード機能を伴う SSD または学内 ELMS ファイル宅配機能を用いて移送する。データは北海道大学および台湾NHRIにて解析予定である。</p>
試料・情報の二次利用	<p>ヒ素のデータは二次利用の可能性があり、その際には各機関のホームページ等で告知を行う。</p>
個人情報の取り扱い	<p>本研究においては、個人が特定される可能性のある氏名などの個人識別情報は削除した情報のみを用いる。また、同意の範囲外において情報の利用を行うことはない。</p>
本研究の資金源 (利益相反)	<p>本研究は、台湾NHRIの研究費で実施されるものであり、申告すべき利益相反はない。</p>
お問い合わせ先	<p>電話：011-706-3325 担当者：北海道大学大学院保健科学研究院・健康科学分野 池田 敦子</p>
備考	<p>本研究は以下の通り審査承認済みである。 【北海道大学環境健康科学研究教育センター倫理審査委員会】 研究課題名：環境と子どもの健康に関する北海道研究（北海道スタ ディ：全道大規模コホート） 研究代表者：岸 玲子 承認日：2024年4月23日、承認番号 24-159</p>